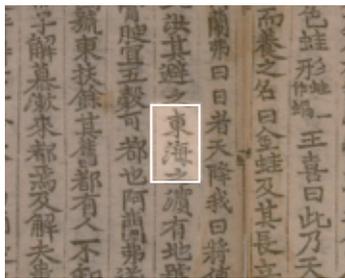


日本海・東海呼称問題について —韓国側歴史主張の誤り—

韓国側の主張

- 2000年前、キリスト生誕以前から「東海」という呼称が使われていた
- 「日本海」の呼称は日本の軍事拡張主義、植民地支配の結果広められた

韓国側の誤った歴史的根拠



- ①「**三国史記**」<1145年成立>、高句麗の建国（紀元前37年）について「東海のほとり」と記述。
→「東海」は、**中国から見た東の海 = 渤海を指す**



- ②「**広開土王碑**」<414年>「東海賈、国烟三、着烟五」と刻されている。
→東海賈は墓守が居住する地域の名称を指す。



- ③**新增東国輿地勝覧**（八道総図）<1530年> 陸地に「東海」の文字
→『**祀典**』に基づき**東海神祠**の位置を表示したもの

- ④「**愛国歌**」（1907年作詞）→ 1948年 李承晩大統領令で韓国の国歌に。「東海が乾き果て、白頭山が磨り減る時まで」

朴殷植『**韓国痛史**』（1915年）－「韓国は亜細亜東南の突出（つきだし）に在る半島国なり。その境界は東、滄海（そうかい）に濱（沿い）、日本海を隔てて西は黄海に臨んで中国の山東江蘇（さんとうこうそ）二省に對す」

- 当時の東海は、滄海（沿海）までで、その外側には日本海が拡がると認識していた。
→「東海」は朝鮮半島の沿海を指すもの = 日本海とは重ならない

日本側の主張 日本海は19世紀初頭までに国際的に確立した呼称

- 日本海の呼称が初めて使われたのは、17世紀初めのイタリア人宣教師によって作成された地図。
- 18世紀までの欧米の地図では、日本海その他、様々な名称が使用されていたが、19世紀初頭以降、日本海の名称が他を圧倒して使われるようになった。

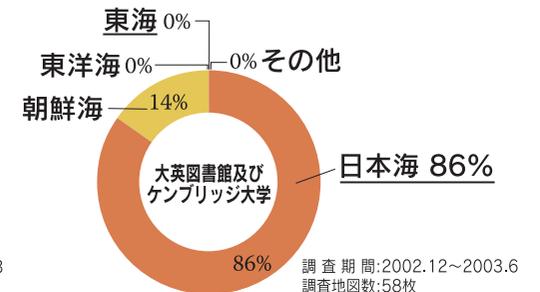
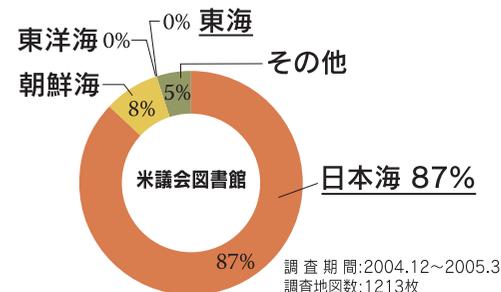
日本側の反論 日本海は1929年、「国際水路機関」(IHO)が決定

- 韓国が日本海の名称に異議を唱え始めたのは1992年の第6回国連地名標準化会議が最初。それまでは二国間でも国際会議の場でも日本海の名称に異議が唱えられたことはなかった。
→2000年前から「東海」呼称を使用していたという韓国の主張は明らかな誤り。
- 日本海の名称が欧米人によって確立された19世紀初頭、日本は江戸時代（鎖国政策中）であり、呼称確立に日本が影響力を行使したことはない。
→19世紀後半の日本の軍国主義によって「日本海」呼称が広まったという韓国の主張は全く妥当性がない。



1840年につくられたイギリスの地図（当時、日本はまだ鎖国時代）。既に「Sea of Japan」と書かれている。

（19世紀に作成された古地図における当海域の名称の使用比率）



- フランス国立博物館での古地図調査 日本=1495枚 韓国=515枚
- 韓国側は「東洋海(Oriental Sea)」「朝鮮海(Korea Sea、Sea of Korea)」を「東海(East Sea)」表記にカウント